



2023年12月11日

エニシア株式会社

医療テキストを目的に応じて整理する『カルテ構造化 API サービス』が 株式会社島津製作所の日本初 感染症マネジメント支援システムに採用

医療向け AI ソフトウェア開発を行うエニシア株式会社（本社：京都市左京区、代表取締役：小東茂夫、以下、エニシア）は、株式会社島津製作所（以下、島津製作所）が提供する日本初の感染症マネジメント支援システムの医療言語処理エンジンに『カルテ構造化 API サービス』を採用いただきました。

カルテ構造化 API サービスは、医療テキストを目的に応じて整理するサービスです。独自の医療言語処理技術『SATOMI®』を応用し、カルテなどの医療テキストを目的に応じた形に自動で整理することで、これまで利用者にかかっていた負担を軽減するとともに、医療情報を利活用する新しい取り組みを可能にします。今回、島津製作所の依頼のもとカルテ構造化 API サービスの特注版を開発し、医療現場で求められるリアルタイム性と実用に耐えうる精度を両立している点をご評価いただき、採用につながりました。感染症マネジメント支援システムのカルテ情報抽出の用途で活用いただいています。

エニシア株式会社 代表取締役 小東茂夫 コメント

「この度、島津製作所様にカルテ構造化 API サービスを採用いただき、大変嬉しく思っています。エニシアはこれまで医療情報の利活用を可能にすることで、医師の事務作業にかかる時間を減らし本来すべき業務に集中できる環境を構築したいと考え、独自の言語処理技術開発に取り組んできました。今後もこの技術を基盤に、人々の健康を支えてくださる医師の皆さまを支援するサービスを開発していきます。」

<感染症マネジメント支援システムとは>

感染症マネジメント支援システムは、島津製作所が名古屋大学医学部附属病院等との共同研究にて開発した、感染症の診断や治療方針を相談したい主治医と専門医に対し、個別の患者について相談できる環境を提供するシステムです。詳しくは、こちらをご覧ください。（https://www.shimadzu.co.jp/news/2023/dd6kyvgh1t3j_k6t.html）

<エニシア株式会社について>

エニシア株式会社は、2017年に医療向け AI ソフトウェア開発を軸に事業をスタートした京大発ベンチャー、J-Startup KANSAI 選定企業です。医療情報の利活用を可能にする独自言語処理技術『SATOMI®』を駆使し、診療情報提供書（紹介状）を作成するサービス『みんなの地域連携室®』や、医療テキストを目的に応じて整理する『カルテ構造化 API サービス』を提供しています。2020年には総務省・NICT 主催の「NICT Entrepreneurs' Challenge 2Days 起業家万博」にて総務大臣賞および国連 ITU 特別賞を受賞しました。

弊社のビジョン「医療から生まれるデータが医療の未来をひらく」社会の実現に向けて、今後も言語処理技術を用いて医師の働き方改革や日本医療の発展に貢献します。詳しくは、公式 WEB サイト（<https://enishia-inc.co.jp/>）をご覧ください。